

Wednesday

5/9



永年の功労を称え

県政功労者知事表彰を受賞

▲佐賀城本丸歴史館で授賞式がありました



▲左から横尾市長、山口祥義知事、平石さんご夫妻

永年にわたり、交通安全指導に貢献されてきた多久市交通安全指導員の平石定吉さん（北多久町）と「創造・挑戦・変革」を旨として市政運営に努めた横尾俊彦市長（北多久町）が、県政功労者知事表彰を受賞されました。

平石さんは、昭和61年6月から現在に至るまで、子どもたちが安全に通学できるよう、毎朝通学路に立ち交通安全の指導を行ってこられました。受賞を受けて「名誉な賞をいただき嬉しい。体力が続く限り、まだまだ続けていきたい」と笑顔で話されました。

横尾市長は、平成9年9月から現在に至るまで20年間、地方自治の発展に寄与されてきました。また、これまでに佐賀県市長会会長や全国市長会副会長を務めるなど、日本の地方自治の充実にも尽力してこられました。

Tuesday

5/22

環境に優しい施設の誕生へ

ごみ処理施設建設工事の安全祈願祭

多久市と小城市が共同で建設・運営する「ごみ処理施設」の建設工事に先立ち、安全祈願祭が建設予定地の旧ゆうらく屋外プール跡地（北多久町）で、工事関係者のほか、天山地区共同環境組合（管理者 多久市長）、両市議員や地元区長など約70人が出席し、執り行われました。

横尾俊彦管理者は「地域住民の人が安心して生活できる、環境に優しい安心・安全な施設作りに努めていくと共に、ごみの減量化に向け住民、行政とが一体となって、さまざまな取り組みを行っていくことが大切」とあいさつ。

この施設は、2020年4月1日からの運営を目指します。



▲安全祈願の様子

▲工事の安全を祈願し、鎌入れを行う横尾管理者



▲間近での演奏に大いに盛り上がる観客

ジャズコンサートで楽しむ初夏の夜

スムーズジャズ 里山のタベ in 納所

Saturday

5/26



▲名曲「A列車で行こう」やアレンジ曲が演奏されました

スムーズジャズ 里山のタベ in 納所（主催：納所里づくり委員会）が、納所交流センター横体育館で開催されました。サックス・深町宏さんとパーカッション・関家真一郎さんによる息の合った演奏に約170人の来場者は手拍子を打ったり、体を動かしたりしてコンサートを楽しみました。田淵厚会長は「地元のみなさんや実行委員の協力で、賑やかに開催できました。演奏と観客が一体となり納所の里に、素敵なジャズの音色を響かせることができました」と笑顔で話されました。